道営畑総事業　斜里美咲地区　事業完了アンケート調査（H25年３月調査）

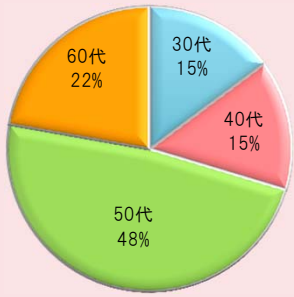
事業名	地区名	市町村	受益面積	受益戸数	採択年度	工期
畑地帯総合整備事業	斜里美咲	斜里町	331.8ha	52戸	H20	H20～H24

工事内容				
区画整理	土層改良			暗渠排水
	客土	心土破砕	土壌改良	
93.1ha	85.8ha	76.2ha	76.2ha	117.6ha

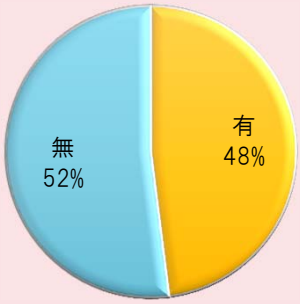
■アンケート回収率：２７／５２　＝５１．９％

Ⅰ　基本事項

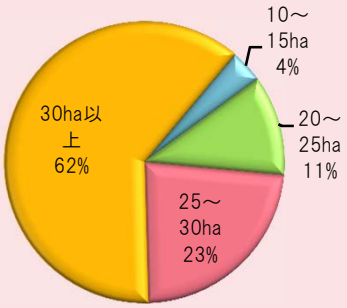
年齢



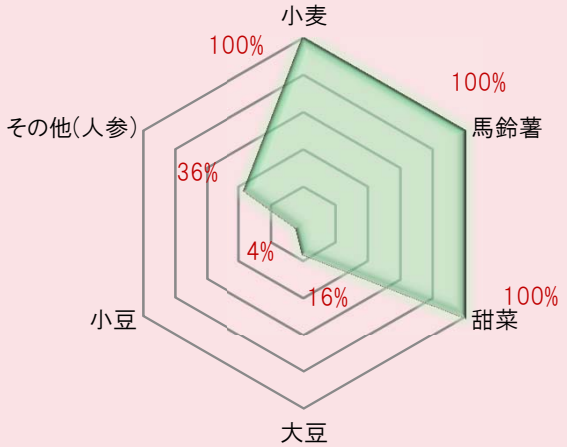
後継者



作付面積



生産作物



■年齢：50代以上が70%と高齢化傾向。

■後継者：48%が後継者有り。

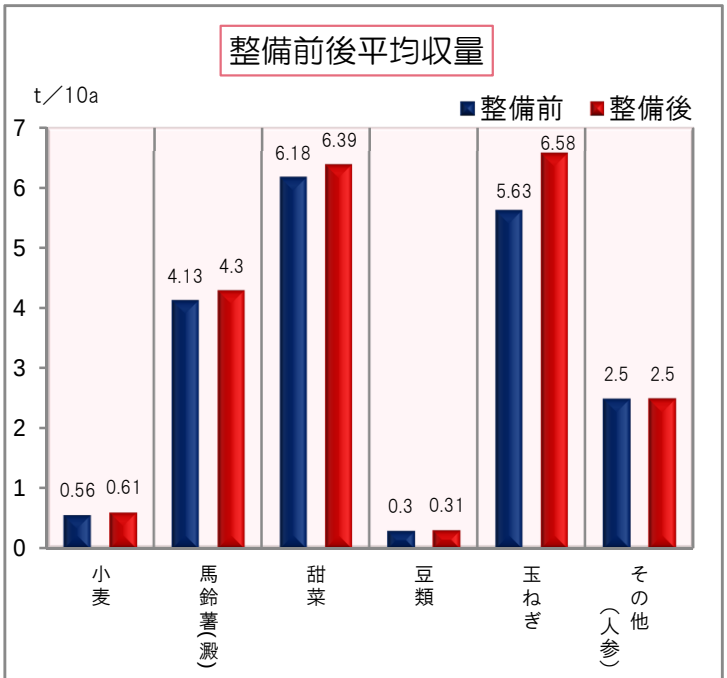
■作付面積：30ha以上が約6割。

■生産作物：小麦、馬鈴薯、甜菜が100%の作付。畑作3品を主体とし、人参は約4割が作付。

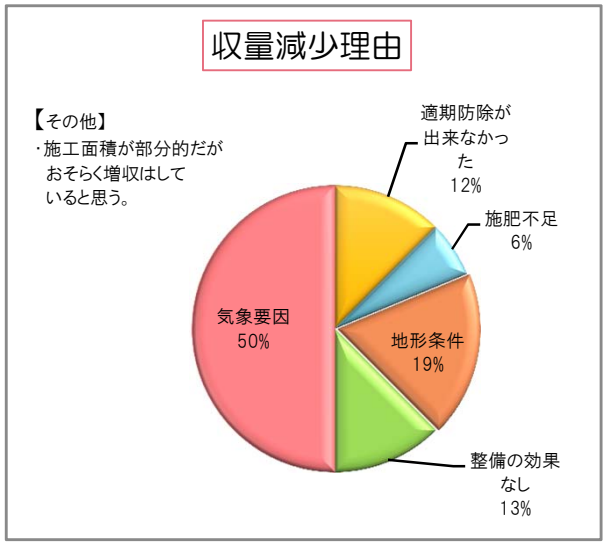
道営畑総事業　斜里美咲地区　事業完了アンケート調査（H25年３月調査）

Ⅱ　事業効果

■１　収量効果：整備前の平年収量と事業整備後の平均収量及び収量が減少した場合の要因



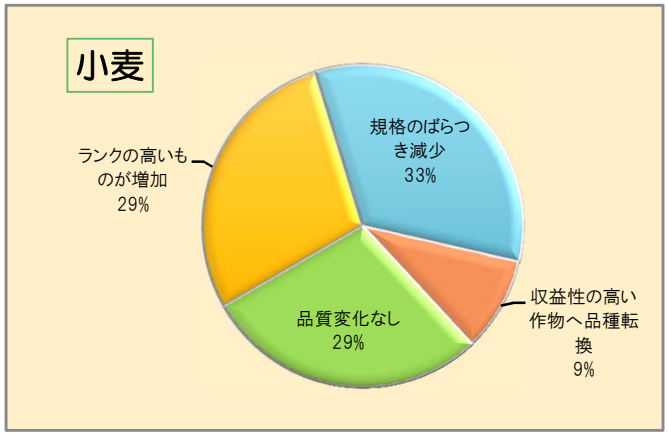
※整備工種は暗渠が約5割。客土が約3割その他は、心破、土改等。

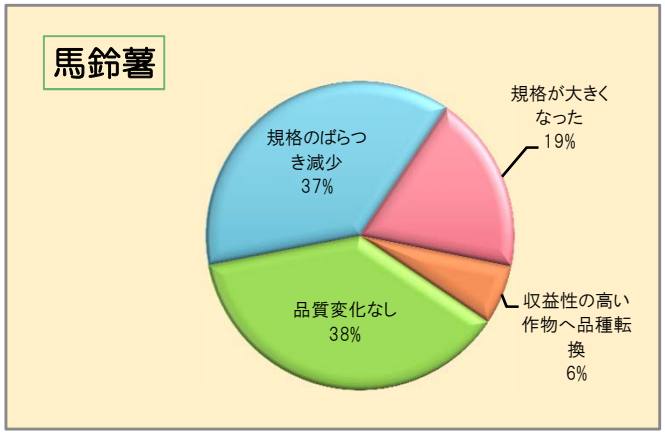


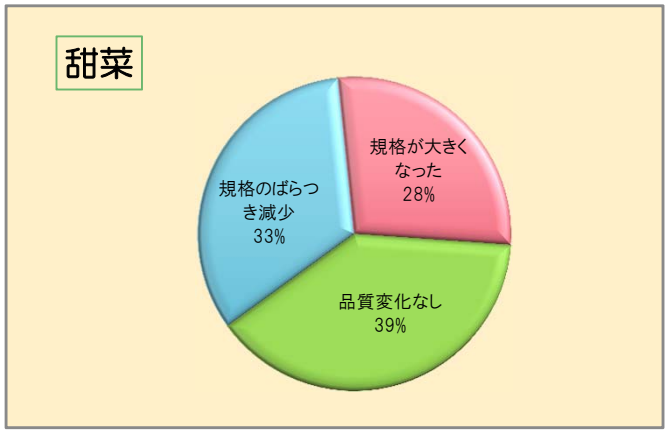
■収量は、小麦、馬鈴薯、甜菜、豆類、玉ねぎで収量増加

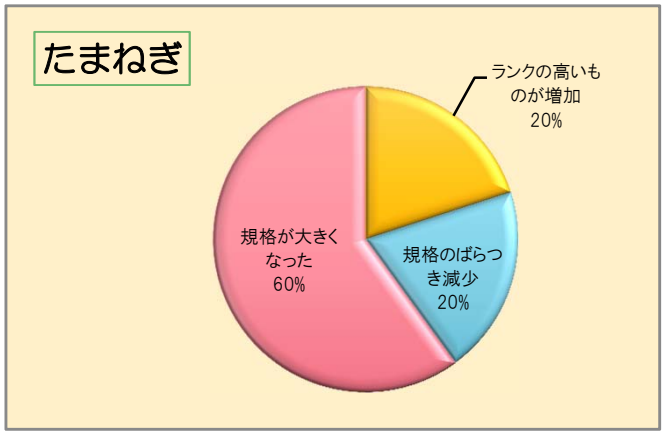
【気象要因減少理由】
・異常気象、高温・多雨

■２　品質変化：事業整備後の品質変化









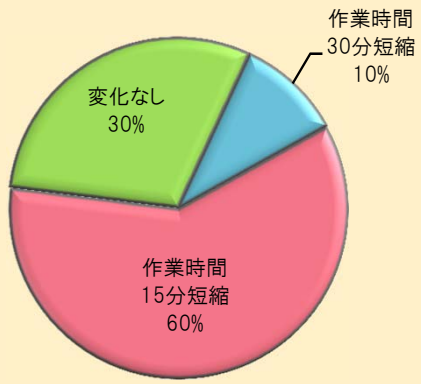
■小麦：約7割が品質の改善効果あり。
■甜菜：約6割が品質の改善効果あり。
■馬鈴薯：約6割が品質改善効果あり。
■たまねぎ：約10割品質改善効果あり。

道営畑総事業　斜里美咲地区　事業完了アンケート調査（H25年３月調査）

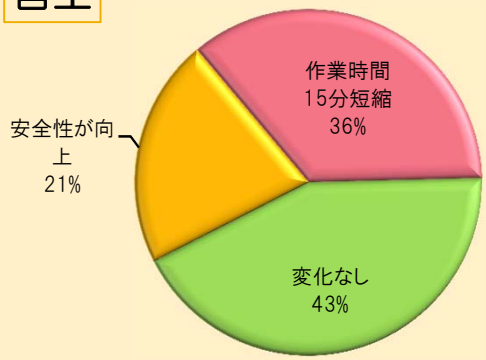
■３　営農効率：事業整備後の営農効率の変化とその要因

①営農効率変化
（※1時間当たりの軽減時間）

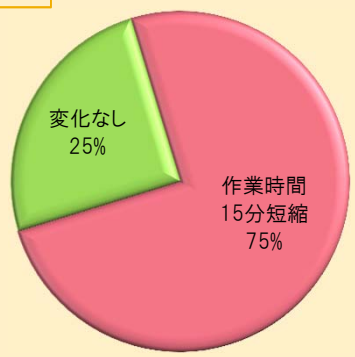
暗渠



客土



心土破砕



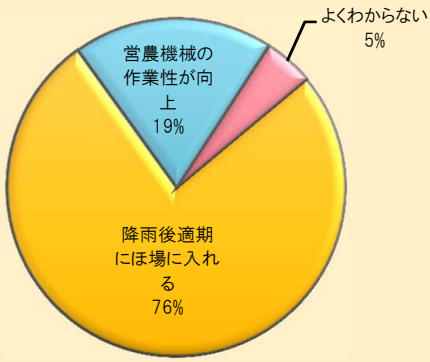
■暗渠：約7割が作業時間軽減.

■客土：約3割が作業時間軽減。

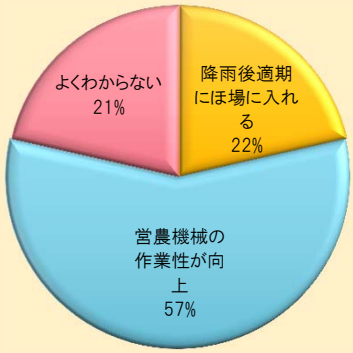
■心土破砕：約7割が作業時間軽減。

②営農効率向上の要因

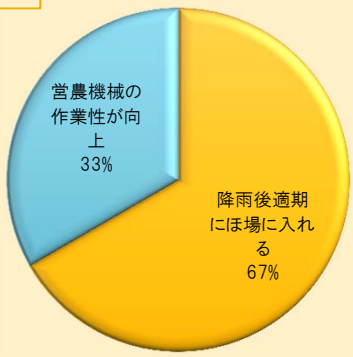
暗渠



客土



心土破砕



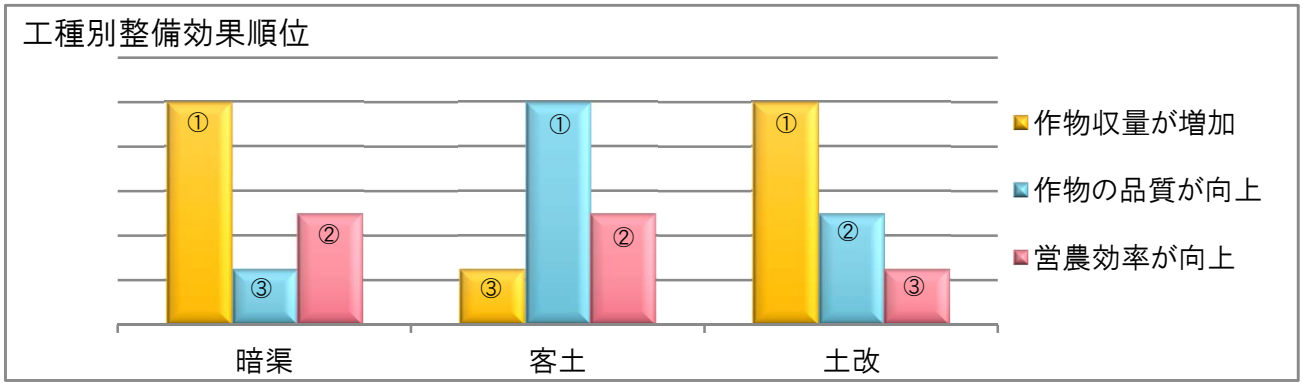
■暗渠：降雨後適期ほ場が約8割。

■客土：営農作業向上が約6割。

■心土破砕：降雨後適期ほ場が約7割。

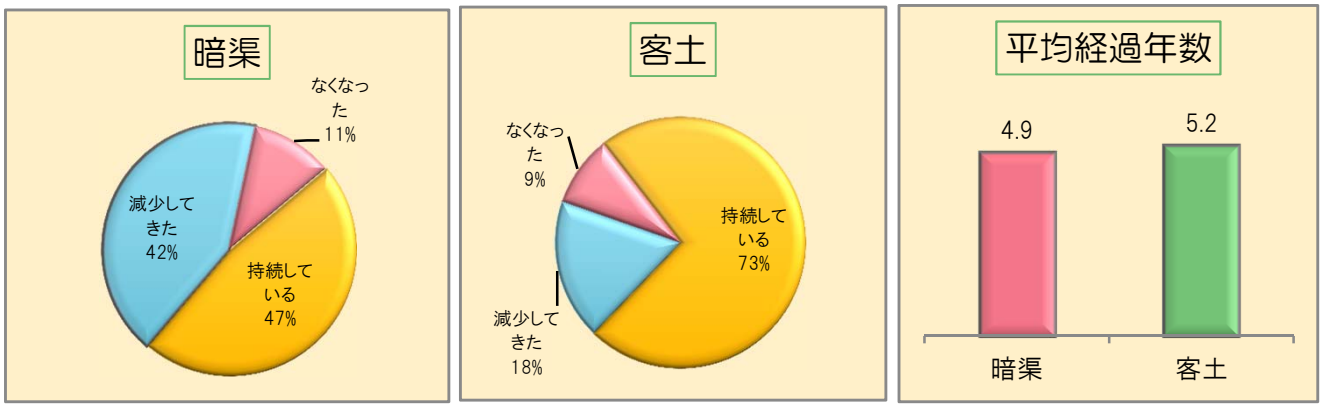
道営畑総事業　斜里美咲地区　事業完了アンケート調査（H25年３月調査）

■４　整備効果：効果のもっとも高かった順位。



・暗渠は、営農効率の向上が一番効果が高い評価を受けた。
・客土は作物品質の向上が高い評価を受けた。
・土層改良は作物収量の増加が高い評価を受けた。

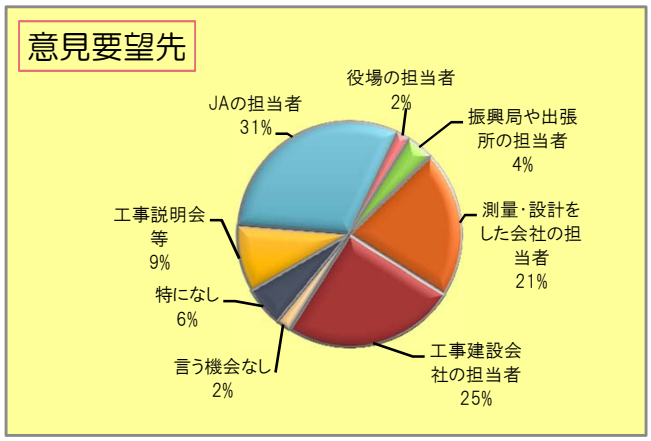
■５　事業効果持続：整備経過年数と効果の状況。



【減少理由】
■暗渠：気象条件や踏圧により硬盤層ができた。　パイプ、疎水材の目詰まり。
■客土：作土層が少なくなった。　１年目なのでまだ効果が出せない

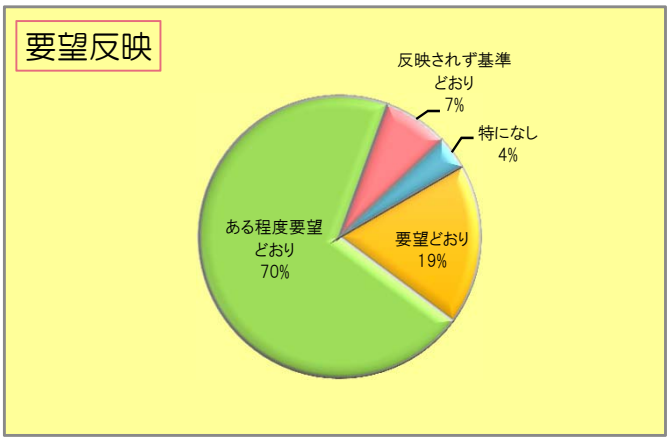
Ⅲ　工事内容

■１　工事に関しての意見要望先



■意見要望先は、JA担当者が約3割、測量・設計会社と工事建設会社が約2割となった。

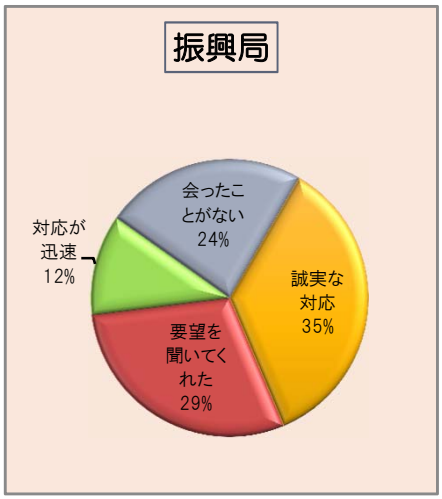
■２　工事への要望反映状況

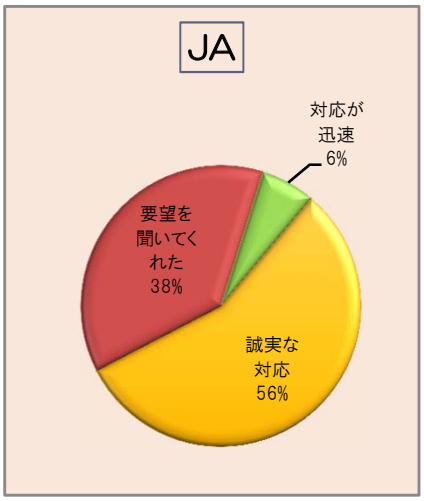


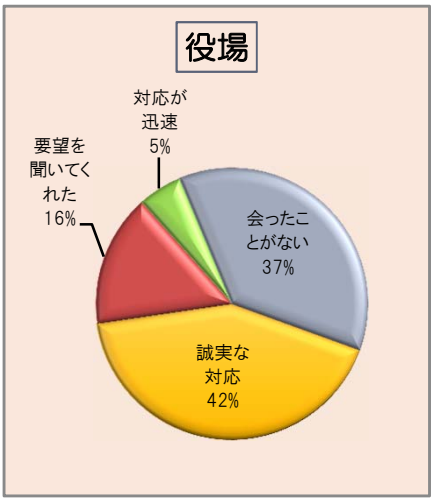
■要望の反映度としては89%との回答

道営畑総事業　斜里美咲地区　事業完了アンケート調査（H25年３月調査）

■３　所属担当者の対応状況







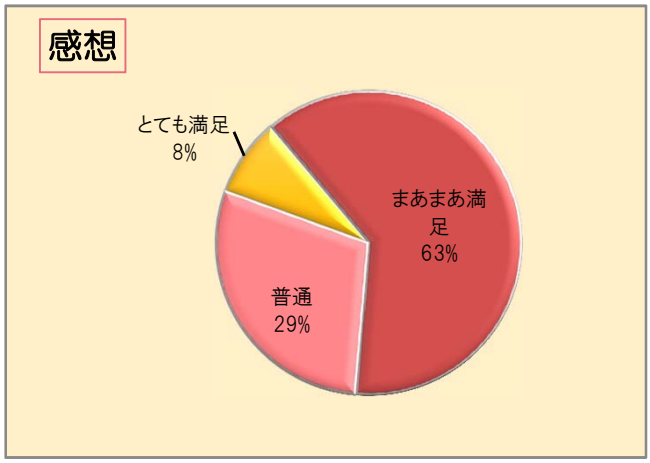
■対応については全体的に高い評価だったが、振興局職員と役場担当者に会ったことがないとの意見があった。

■４　工事監督員対応評価

【良かった点】
・要望等を親切に聞いてくれた。
・地域の要望をある程度聞いてくれた。

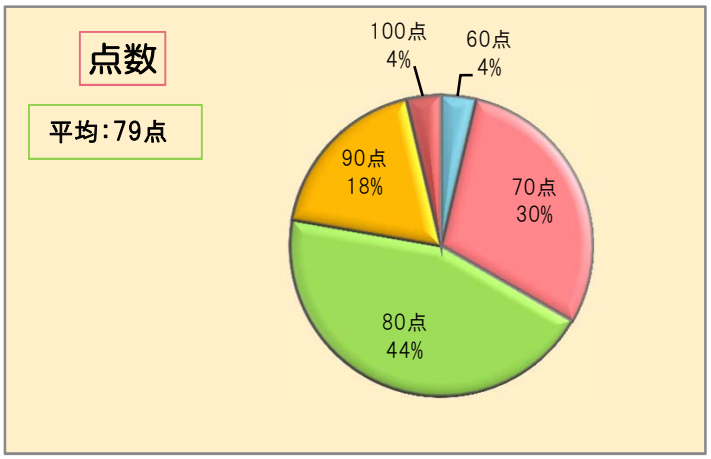
【悪かった点】
・工事施工時会えなかった。
・客土の土に石があった。

■５　工事の感想



■約6割が満足と回答。

■６　事業全体評価点数

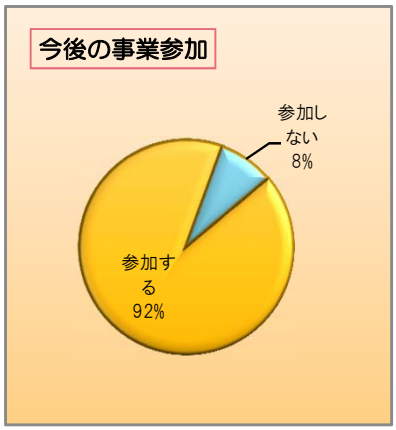


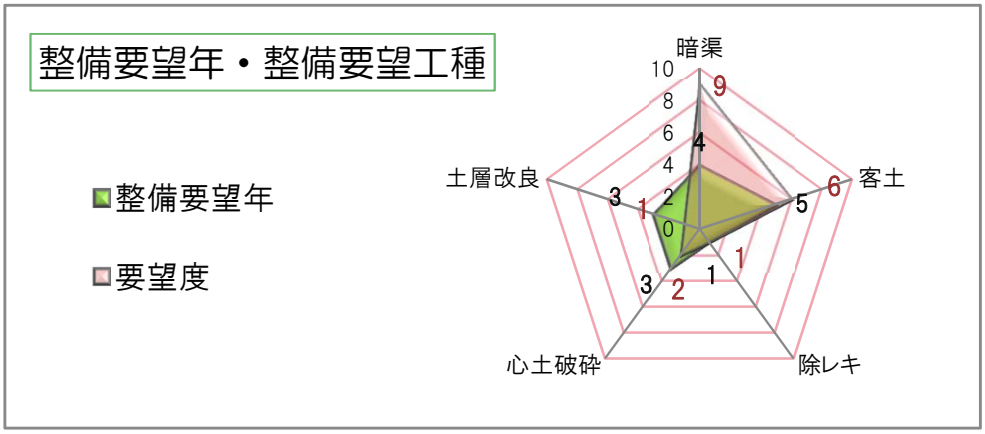
■平均点は79点の評価を受けているものの、いくつかの不満がみられた。
今後の事業実施に向けての課題があった。

道営畑総事業　斜里美咲地区　事業完了アンケート調査（H25年３月調査）

Ⅳ　今後の基盤整備要望について

■１　今後の事業参加





■２　整備要望・整備要望年

■今後の事業参加：92%参加要望。

■今後の整備要望工種：暗渠が9ポイント、客土が6ポイントと整備要望が高い。心土破砕の整備要望は2ポイント、除レキ、土層改良が1ポイントだった。

■今後の整備要望年：暗渠の整備要望年は4年、客土の整備要望年は5年だった。

■３　今後、農業を持続していく上での課題

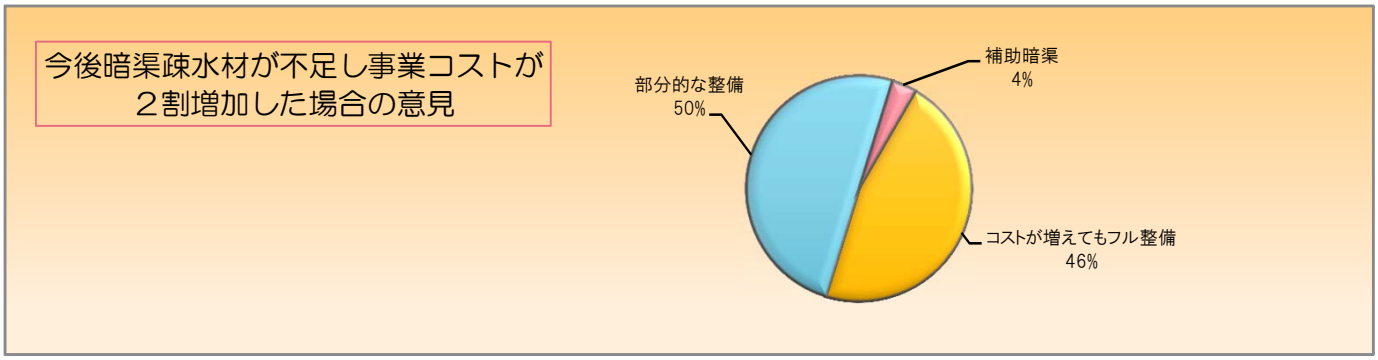
①営農で一番困っている課題

・異常気象・湿害による作業の遅れ。湿害による作物の減収。
・営農についての今後が不透明。
・基盤整備事業費の増加（火山レキなどの不足）。
・補助費が少なすぎる
・畑がほしい、機械を揃えたい。
・農作物の価格低下
・TPPの開始

②基盤整備による改善

・暗渠排水、明渠排水による湿害対策。
・どの程度の投資で回収できるかによって改善されるかもしれない。
・長く効く暗渠排水を施行してほしい。

■４　今後の暗渠整備要望



道営畑総事業　斜里美咲地区　事業完了アンケート調査（H25年３月調査）

■５　今後の基盤整要望

・暗渠排水（事業費負担額が増加しても暗渠を深く施工してほしい）。

・暗渠パイプのスパンを各自で決定できるようにしてほしい。

・暗渠排水施工の間隔を狭くしたりパイプの太さを太くしてほしい。
　又、希望する場所を集中的に施工してほしい。

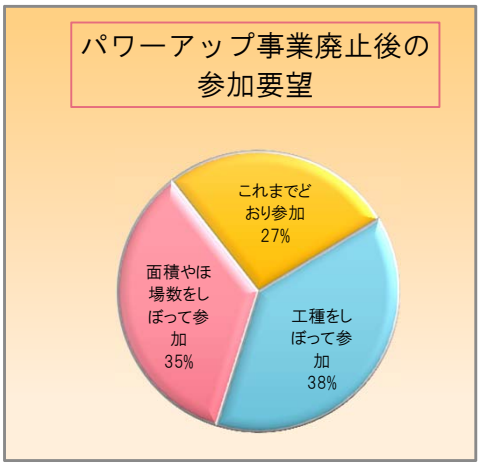
・河川敷地も対象にしてほしい。

・火山灰での客土。

・明渠排水の床ざらい。

・暗渠の火山レキが不足してるので、火山レキを減らす代わりにバオバオやシート等で目詰まり防止をしたり、パイプを大きくしてほしい。

■６　パワーアップ事業参加



【パワーアップ事業に関する要望】

・非常に助かるのでいつまでも続けてほしい
・パワーアップ事業は受益者の負担の軽減になるのでぜひ続けてほしい。
・近年は大雨が多く暗渠整備はかかせないと思う。
　予算の関係もあると思うが出来るだけ継続してほしい。

■７　全体をとおしての意見要望

・長期の計画が出来るよう事業を継続してほしい。

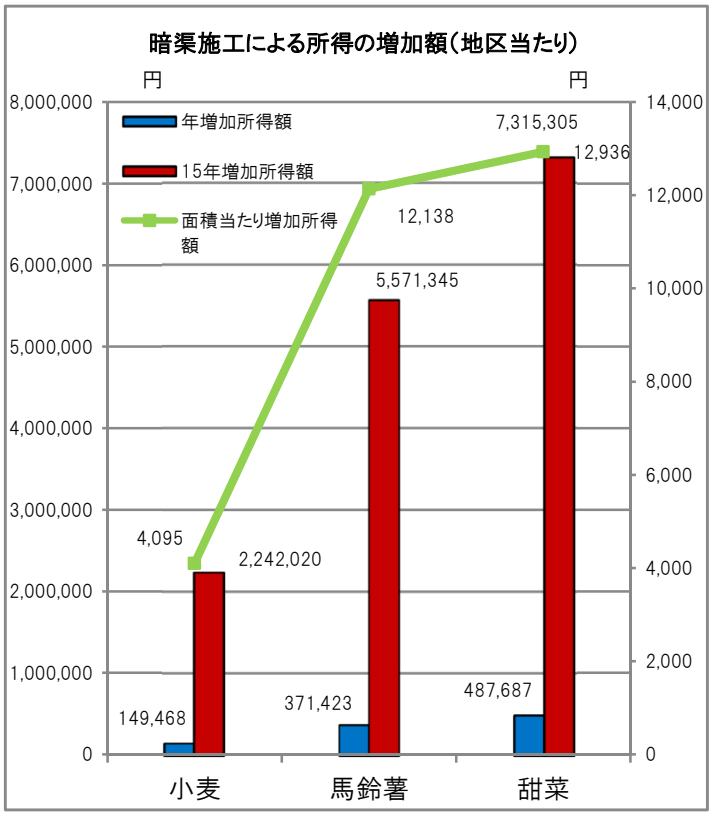
・自己負担が多い。

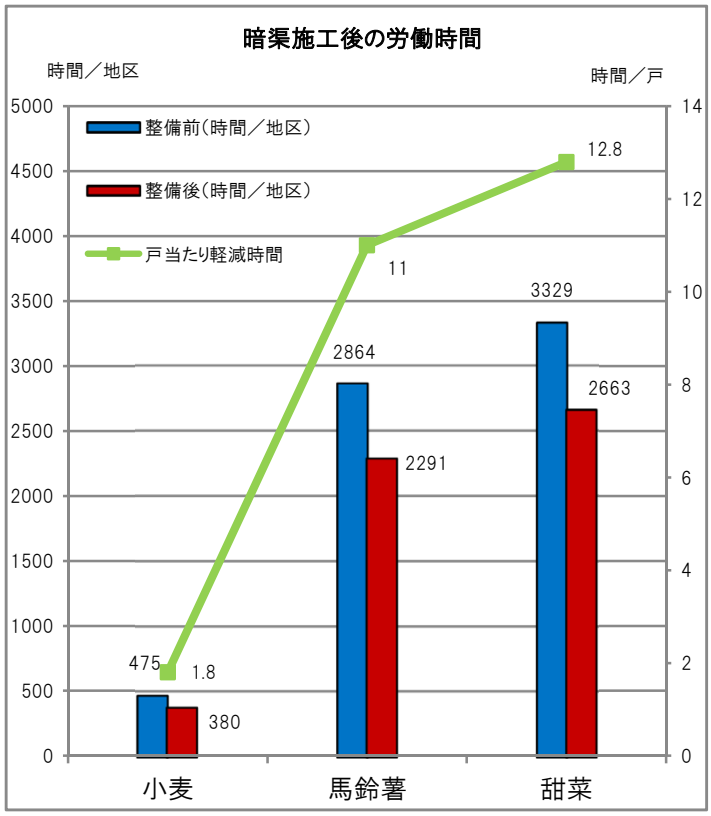
・補助率のアップ

・受益者負担が少々上がっても工事を早くしてほしい。

道営畑総事業　斜里美咲地区　事業完了アンケート調査（H25年３月調査）

＜参考＞





作物	暗渠受益面積		平均増収量	販売価格	所得率	面積当たり増加所得額	年増加所得額		総労働時間	
	作付率	作付面積(a)					地区当たり	戸当たり	整備前	整備後
	(%)	① (ha)	② (kg/10a)	③ (円/kg)	④	⑤=②×③×④ (円/ha)	⑥=①×⑤ (円/地区)	⑦=⑥/52戸 (円/戸)	(時間/地区)	(時間/地区)
小麦	31.0%	36.5ha	50	21	0.39	4,095	149,468	2,874	475	380
馬鈴薯	26.0%	30.6ha	170	14	0.51	12,138	371,423	7,143	2,864	2,291
てんさい	32.1%	37.7ha	210	11	0.56	12,936	487,687	9,379	3,329	2,663
計							1,008,578	19,396	6,668	5,334

■暗渠受益面積：作物別の作付面積は地区の平均作付率により算出。
■面積当たり増加所得額：作物別の平均増収量、販売価格、所得率により算出。
■年増加所得額：暗渠排水の施工により増加する地区全体の所得額。暗渠受益面積と面積当たり増加所得額により算出。
■15年増加所得額：暗渠機能効果が15年持続した場合の増加所得額で、年増加所得額を15倍して算出。
　※販売価格：小麦は秋まき小麦、馬鈴薯は食用馬鈴薯、豆類は大豆の販売価格を適用。
■総労働時間
　・整備前：畑・野菜複合経営30haモデルの総労働時間「2,189時間」を基に作物別のha当たり労働時間を算出　し、これと暗渠受益面積により整備前の総労働時間を算出。
　・整備後：「営農の効率変化」アンケート結果により、整備前の労働時間を約7割31%軽減させて算出。
　・戸当たり軽減時間：整備前と整備後の労働時間の差を地区の受益戸数「52戸」で除して算出。
（販売価格等はJA地域農業振興計画から引用）